

平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書
(別添資料)

平成 2 2 年 6 月
大阪大学

目 次

資料 1-2-1	大学院高度副プログラム一覧表	1
資料 1-3-1	ラーニング・コモンズ関係資料	2
資料 1-3-2	スチューデント・コモンズ関係資料	3
資料 2-1-1	免疫学フロンティア研究センターにおける 外国人研究者受入数の推移	4
資料 2-2-1	大型教育研究プロジェクト支援室関係資料	4
資料 3-1-1	21 世紀懷徳堂関連事業に関する資料	5
資料 3-4-1	学術交流協定の新規締結数	6
資料 3-4-2	大阪大学フォーラム関係資料	6
資料 3-4-3	エラスムス・ムンドゥス採択プログラム一覧表	7
資料 3-4-4	平成 21 年度先導的留学生交流プログラム (ICI ECP) 関係資料	7

資料 1 - 2 - 1 大学院高度副プログラム一覧表

○平成 20 年度 大学院高度副プログラム一覧表

整理番号	プログラム名称	提案部局	連携部局	修了単位数	履修対象者	新規申請者数	修了者数	
1	まちづくりデザイン学	工学研究科	CSCD	8単位以上	M・D	27	9	
2	環境リスク管理学	工学研究科		8単位以上	M	14	5	
3	応用自然言語処理理論と技術	言語文化研究科		8単位以上	M・D	3	0	
4	グローバルリーダーシップ・プログラム	国際公共政策研究科		8単位以上	M・D	3	0	
5	ITSpiral	情報科学研究科		14単位以上	M1	2	5	
6	高度情報ネットワーク実践スペシャリスト	情報科学研究科		8単位以上	M	3	0	
7	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム	臨床医工学融合研究教育センター	工学・基礎工・医学系・歯学・薬学・情報・実践・CSCD	9単位以上	M・D	132	29	
8	コミュニケーションデザイン	コミュニケーションデザイン・センター	文学・人間	8単位以上	M・D	58	13	
9	金融・保険	金融・保険教育研究センター	経済・理学・基礎工・情報	8科目以上	M・D	155	18	
10	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム (博士前期課程高度学際教育)	ナノサイエンス・ナノテクノロジー研究推進機構	理学・工学・基礎工・医学系・薬学・生命・産研・接合・超高压・極限・太陽	9単位以上	M	93	55	
11	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム (博士後期課程社会人特別選抜)	ナノサイエンス・ナノテクノロジー研究推進機構	理学・工学・基礎工・医学系・薬学・生命・産研・接合・超高压・極限・太陽	9単位以上	D	0	0	
12	サステイナビリティ学	サステイナビリティ・サイエンス研究機構	人間・経済・工学	8単位以上	M	21	5	
13	ERASMUS MUNDUS英語授業・現代日本論	文学研究科		8単位以上	M・D	3	0	
14	医科学修士の健康医療問題解決能力の涵養	医学系研究科		8単位以上	M	13	0	
						計	527	139

※受講対象者
M・・・博士前期課程・修士課程・生命機能研究科は博士課程1・2年生
D・・・博士後期課程・博士課程・生命機能研究科は博士課程3年生以上

(教育・情報室作成)

○平成 21 年度 大学院高度副プログラム一覧表

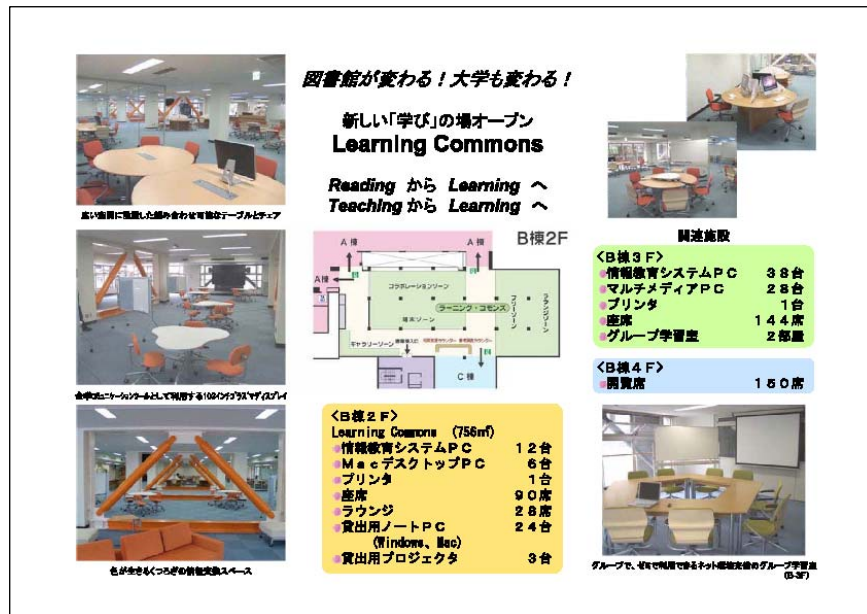
整理番号	新規・継続	プログラム名称	提案部局	連携部局	修了単位数	履修対象者	新規申請者数	修了者数
1	継続	まちづくりデザイン学	工学研究科	CSCD	8単位以上	M・D	10	12
2	継続	環境リスク管理学	工学研究科	-	8単位以上	M	14	5
3	継続	応用自然言語処理理論と技術	言語文化研究科	-	8単位以上	M・D	2	2
4	継続	グローバルリーダーシップ・プログラム	国際公共政策研究科	-	8単位以上	M・D	3	0
5	継続	IT Spiral	情報科学研究科	-	14単位以上	M1	4	9
6	継続	高度情報ネットワーク実践スペシャリスト	情報科学研究科	-	8単位以上	M	1	3
7	継続	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム・専門科	臨床医工学融合研究教育センター	医学系、歯学、薬学、工学、基礎工、情報、実践、CSCD	9単位以上	M・D	113	64
8	新規	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム：高度職業人育成科	臨床医工学融合研究教育センター	経済、医学系、薬学、CSCD	10単位以上	M・D	20	1
		[クリニカルリサーチプロフェッショナル育成コース]			11単位以上	M・D		
		[分子イメージング創薬プロフェッショナル育成コース]			11単位以上	M・D		
9	継続	コミュニケーションデザイン	CSCD	文学、人間	8単位以上	M・D	102	42
10	継続	金融・保険	金融・保険教育研究センター	経済、理学、基礎工、情報	8科目以上	M・D	117	18
11	継続	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士前期課程高度学際教育)	ナノサイエンスデザイン教育研究センター	理学、医学系、薬学、工学、基礎工、生命、産研、接合、超高压、極限、太陽	9単位以上	M	73	45
12	継続	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士後期課程社会人特別選抜)	ナノサイエンスデザイン教育研究センター	理学、医学系、薬学、工学、基礎工、生命、産研、接合、超高压、極限、太陽	9単位以上	D	0	0
13	継続	サステイナビリティ学	サステイナビリティ・デザイン・センター	人間、法学、理学、工学、基礎工、国際、CSCD	8単位以上	M	23	11
14	継続	医科学修士の健康医療問題解決能力の涵養	医学系研究科(医科学専攻)	-	8単位以上	M	19	10
15	継続	ERASMUS MUNDUS英語授業・現代日本論	文学研究科	-	8単位以上	M・D	4	0
16	新規	グローバル共生	GLOCOL	人間、法学、言語、国際、CSCD	10単位以上	M・D	30	1
17	新規	人間の安全保障・社会開発	GLOCOL	人間、経済、医学系、工学、国際、実践、CSCD	8単位以上	M・D	25	0
18	新規	司法通訳翻訳論	GLOCOL	人間、法学、言語	10単位以上	M・D	39	1
19	新規	インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践	留学生センター	言語	8単位以上	M・D	9	0
20	新規	高度がん医療人材育成プログラム	医学系研究科(保健学専攻)	薬学・核物	8単位以上	M・D	7	0
						計	615	224

※受講対象者
M・・・博士前期課程・修士課程・生命機能研究科は博士課程1・2年生
D・・・博士後期課程・博士課程・生命機能研究科は博士課程3年生以上

(教育・情報室作成)

資料 1-3-1 ラーニング・コモンズ関係資料

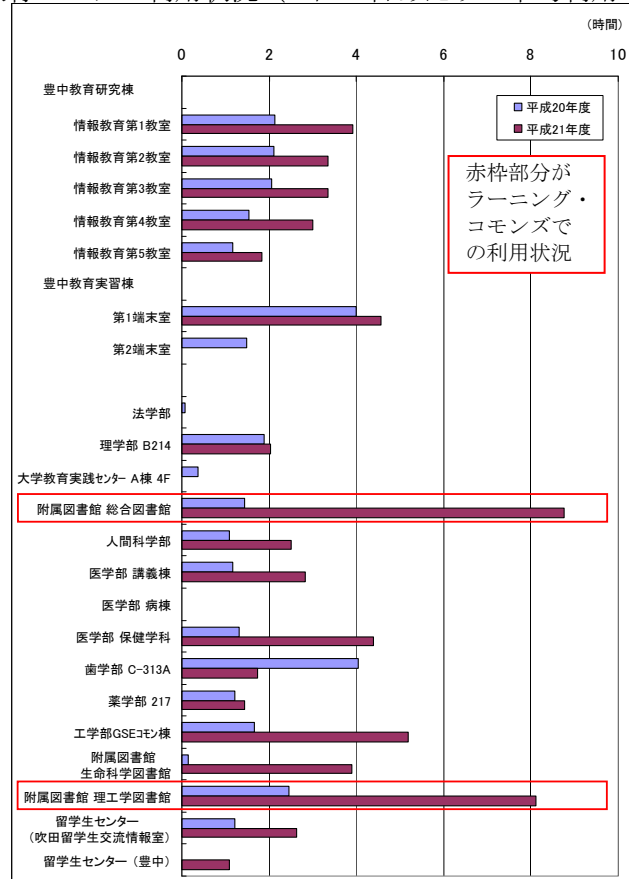
○ラーニング・コモンズ見取り図



(出典：「ラーニング・コモンズ」リーフレット)

○ラーニング・コモンズ利用状況

(情報教育システム利用状況 (1日1台あたりの平均利用時間(年度比較)))



(教育・情報室作成)

(注：総利用時間を各部屋の設置台数と利用日数で割っています。)

資料 1-3-2 スチューデント・コモンズ関係資料

○スチューデント・コモンズ見取り図等

◆「語り合う場」、「学び合う場」、「磨き合う場」



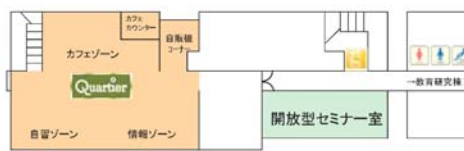
大学教育実践センター教育研究棟1、2階に新設されたスチューデント・コモンズは、学生同士あるいは学生・教職員の自由な対話を活性化するための開放的なスペースです。

双方向型授業、学習成果発表、課外活動、留学生との交流、学生同士の談話、学生・教職員企画のさまざまなイベント、FD活動など、多様な知的交流が実現できる環境が整っています。

昨年11月9日～13日のオープニングウィークでは、学生による企画イベントも多く開催され、大変盛況でした。今後ますます、「語りあい」「学びあい」「磨きあい」知的にぎわいのあるスペースとして活性化することが期待されています。

◆1階部分は自由な対話の場

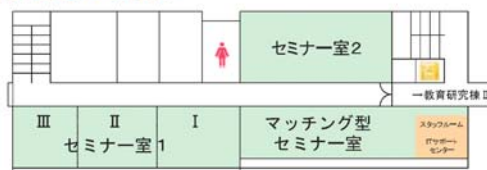
阪大カフェ「カルチエ」と「開放型セミナー室」があり、どちらも室内部分とテラス部分を一体化して利用することができる開放的な雰囲気を持つスペースです。



スチューデント・コモンズ1階部分

◆2階部分は新しい対話型教育の場

「スタッフルーム」と「マッチング型セミナー室」など3つのセミナー室があり、学習支援や自由な発想の多様な教育活動を行うスペースです。

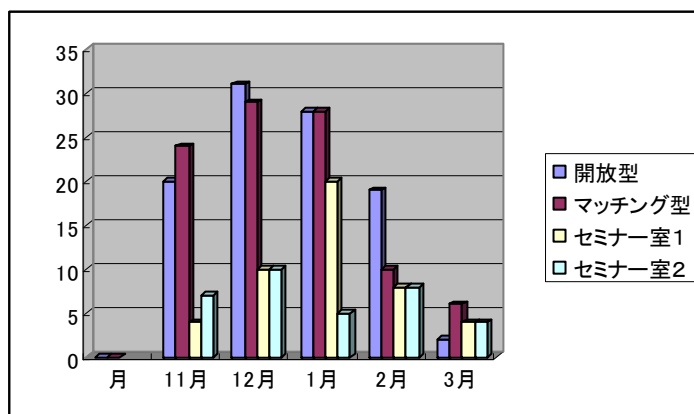


スチューデント・コモンズ2階部分

(出典：大阪大学広報誌「阪大 Now」No. 116 (2010年2月号))

○スチューデント・コモンズ利用状況

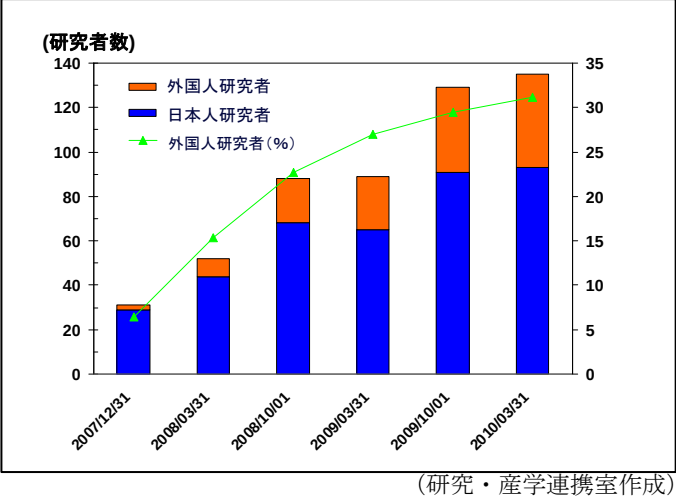
(セミナー室の利用状況(件数)－2009年度－)



(注：2月～3月は、定期試験(後期)等のため一時的に減少)

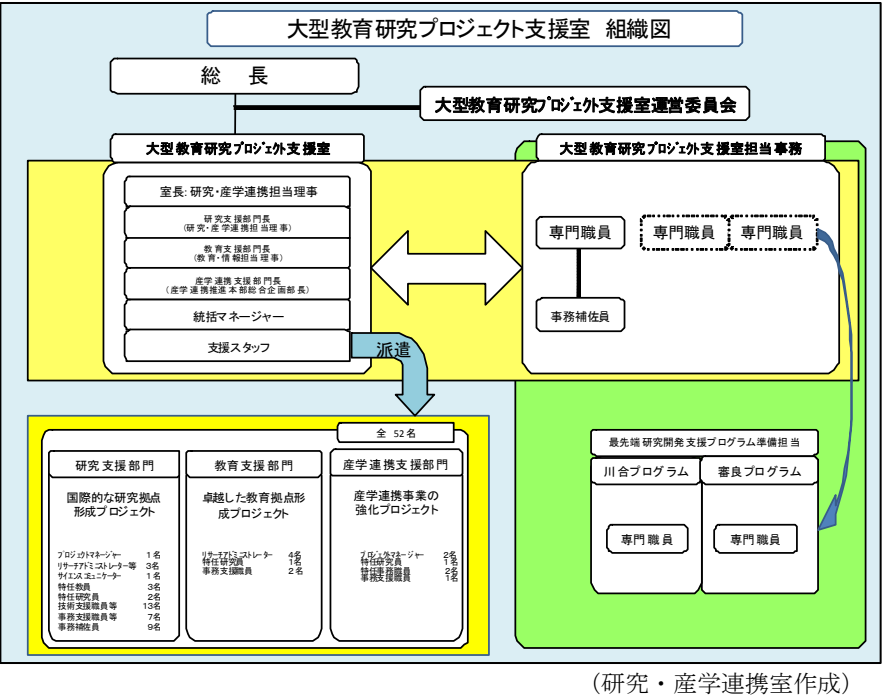
(教育・情報室作成)

資料 2-1-1 免疫学フロンティア研究センターにおける外国人研究者受入数の推移



資料 2-2-1 大型教育研究プロジェクト支援室関係資料

○大型教育研究プロジェクト支援室組織図



○最先端研究開発支援プログラム一覧表

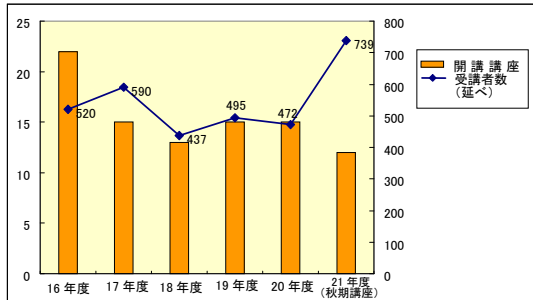
■ 平成21年度採択(研究機関:平成21年度～平成25年度)		
分野名	プログラム名称	中心研究者
ライフサイエンス	免疫ダイナミズムの統合的理解と免疫制御法の確立	審良 静男 免疫学フロンティア研究センター 拠点長・教授
ナノテクノロジー・材料	1分子解析技術を基盤とした 革新ナノバイオデバイスの開発研究	川合 知二 産業科学研究所 特任教授

(※全国の採択件数30件のうち、大阪大学は2件採択)

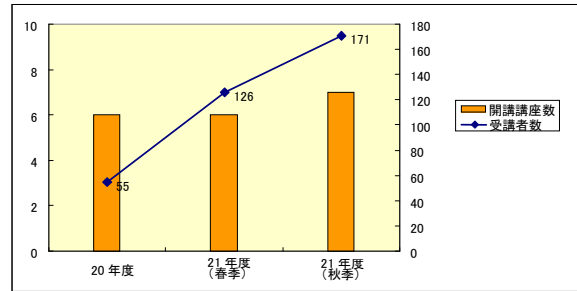
(研究・産学連携室作成)

資料 3-1-1 21 世紀懐徳堂関連事業に関する資料（広報・社会学連携室：作成）

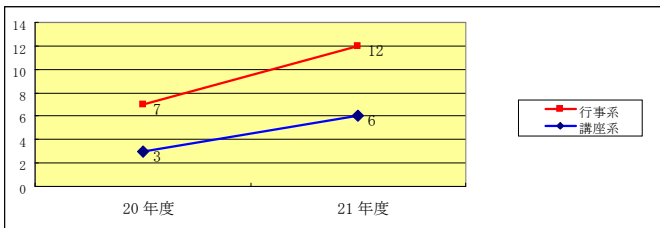
○公開講座「大阪大学中之島講座」
開講講座数等の推移



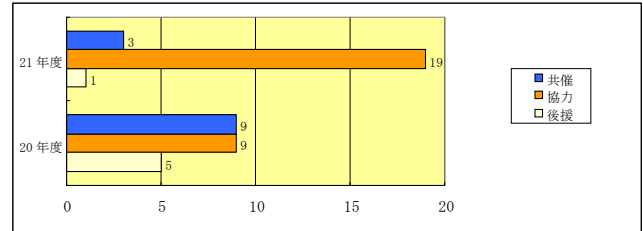
○「大阪大学 21 世紀懐徳堂講座」
（大阪市との連携講座）の開講講座数等の推移



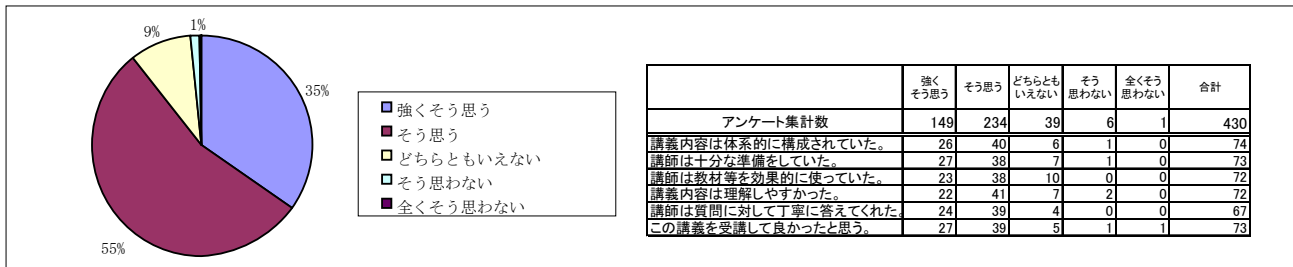
○「大阪大学 21 世紀懐徳堂主催等事業」の推移



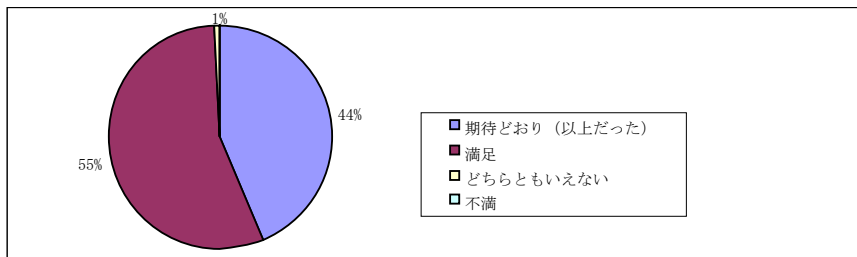
○「大阪大学 21 世紀懐徳堂共催等事業」の推移



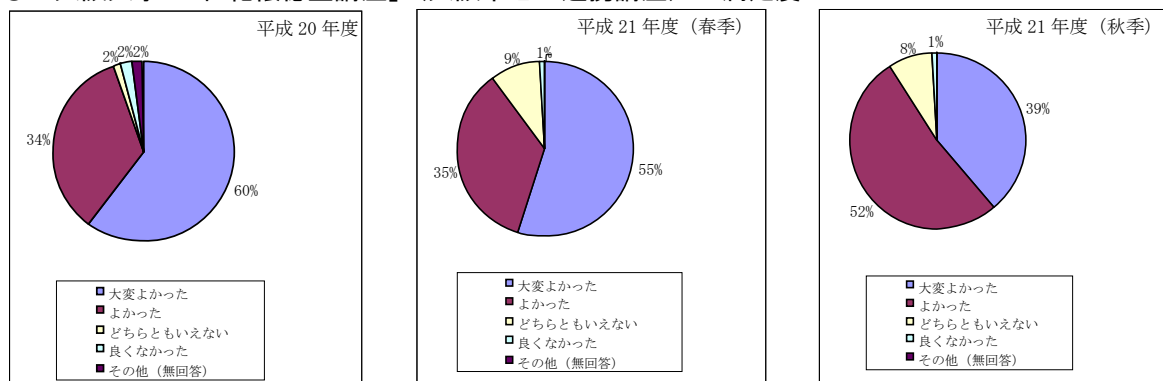
○平成 20 年度公開講座「大阪大学中之島講座」の満足度



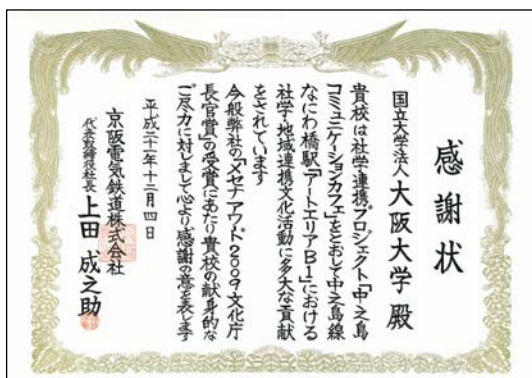
○平成 21 年度（夏季講座スペシャル）の満足度



○「大阪大学 21 世紀懐徳堂講座」（大阪市との連携講座）の満足度



○メセナアワード 2009 受賞関係

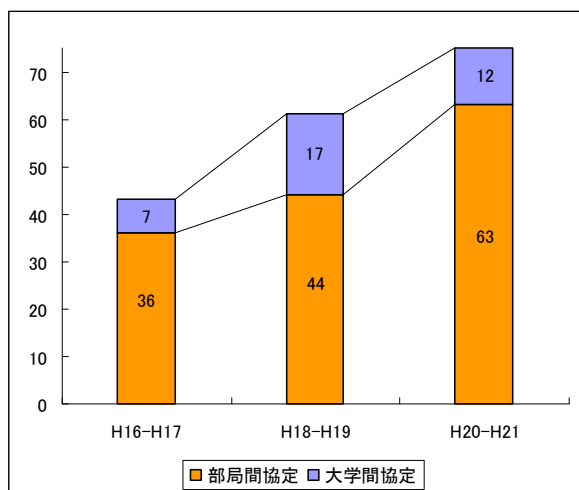


(感謝状 (平成 21 年 12 月 4 日／京阪電気鉄道株式会社より))



(出典：大阪大学広報誌「阪大 Now」 No. 113 (2009 年 9 月号))

資料 3-4-1 学術交流協定の新規締結数



(国際交流室作成)

資料 3-4-2 大阪大学フォーラム関係資料

○第8回（米国：サンフランシスコで開催）

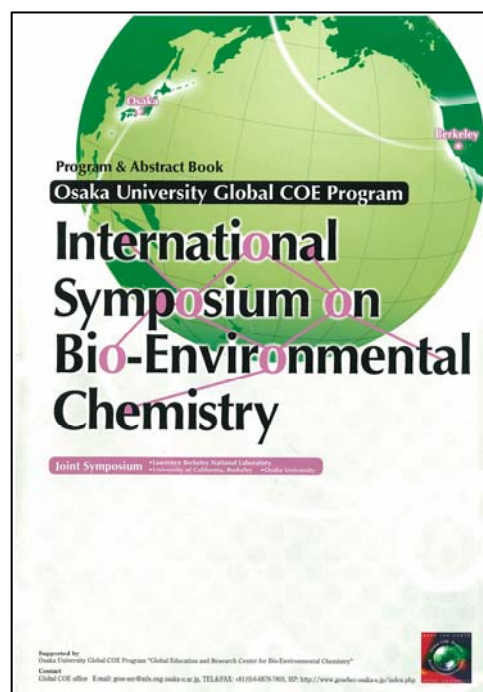


(出典：「社会と大学を結ぶ季刊情報誌」
阪大ニューズレター (No. 43) - 2009 年 3 月号)

○グローバルCOEプログラム-国際シンポジウム-開催

(大阪大学フォーラム参加校
(カリフォルニア大学バークレー校) との共催))

2009. 12. 19-20 開催



(出典：グローバルCOEプログラム-国際シンポジウム-報告書)

○第9回（マレーシア・クアラルンプールで開催）

第9回大阪大学フォーラムを
クアラルンプール(マレーシア)で開催



第9回大阪大学フェラム「東南アジアにおける日本語・日本文化教育の21世紀戦略」を開催。日本語・日本文化の国際的な展開について研究ネットワークの構築を目指してをテーマに11月3日(火)、4日(水)、クアラ・ランカウ(マレーシア)で開催しました。大阪外国語大学と当地の両校の成果を示し、国際社会と地域を橋渡すのが狙いで、マレーシアと日本の全面的な協力をめ、マレーシア教育省との共催で、恵田清一総長、辻越一郎理事、南村・副学長が出席しました。

初日は、日本語・日本文化の教育の研究についてとの講演とマレーシアとアジアにおける日本語・日本文化教育の現状と課題について報告が行われました。2日は、



午前中に日本語研究、日本語教育、日本語文化の3分野にかかわれるの研究発表と全体会議に基づく討議があり、午後に、全体会議で「イノベティス・ディスカッション」の形式で行われた。

今回のフォーラムには、開催地のマレーシアに加え、タイ、ベトナム、フィリピン、インドネシア、シンガポール、インドの各国から、いずれも主要大学で日本語・日文化の教育研究に従事している研究者15名がネーリスト・発表者として参加した。

また、本学からは日本語・日文化研究センターに所属する教員31名と院生18名が参加した。延べ400名を超える聴衆は、大半が大学等の研究機関で日本語を教えた

[illegible]

る研究者同士あるいは大学間の協力、連携を構築する機運が生まれたのです。そして、近い将来、その中樞に本学も加わり、この地域の学術、教育活動において新たな国際貢献が期待できるようになったのが最大の成果であると言えるでしょう。

(出典：「社会と大学を結ぶ季刊情報誌」)

阪大ニューズレター (No. 46) - 2009 年 12 月号)

○マレーシア教育省、日本語教師数に応じて日本語クラスを増やす。

Kelas ajar bahasa Jepang ditambah

Bergantung bilangan tenaga pengajar

KALAU LUMPUR: Kementrian Pendidikan Malaysia akan menungkatkan jumlah sekolah berasrama penuh di seluruh negara untuk meningkatkan taraf pembelajaran pelajar-pelajar yang berkeperluan. Menteri Pendidikan Malaysia, Datuk Seri Anwar Ibrahim, berkata perancangan ini bertujuan meningkatkan taraf pendidikan pelajar-pelajar yang berkeperluan.

72
sekolah

[illegible]

(出典: Berita Harian (マレーシアの新聞))

2009 年 11 月 4 日 12 面)

資料 3-4-3 エラスムス・ムンドゥス 採択プログラム一覧表

採択部署 (年度)	プログラム名	参加大学
文学研究科 (平成20年度～)	Euroculture 修士課程プログラム	《欧州連合内部参加大学》 グローニンゲン大学(オランダ) オロモツツ大学(チェコ) ゲッティンゲン大学(ドイツ) デウスト大学(スペイン) ヤギウオ大学(クラクワ校)(ポーランド) ウプサラ大学(スウェーデン) 《パートナー大学》 大阪大学 メキシコ国立自治大学(メキシコ) ブネナ大学(インド) インディアナ大学・パーデュー大学(インド) アナポリス(アメリカ合衆国)
工学研究科 (平成21年度～)	Masters on Photonic NETWORKS Engineering (MAPNET)	大阪大学、聖アンナ高等研究院(イタリア)、アストン大学(イギリス) ベルリン工科大学(ドイツ)
言語文化研究科 (平成21年度～)	Multiculturalism: Master degree in Learning and Teaching of Spanish in Multilingual and International Contexts (EMELE)	大阪大学、デウスト大学(スペイン)、バルセロナ大学(スペイン)、ボンペウ・ファブラ大学(スペイン)、ベルリン自由大学(ドイツ)、グローニンゲン大学(オランダ)、アスラント大学(アイスランド)、ストックホルム大学(スウェーデン)、ジャウハルラル・ネルー大学(インド)、カンピーナス大学(ブラジル)、メリーランド大学(アメリカ)、モスクワ国立言語大学(ロシア)

(国際交流室作成)

資料 3-4-4 平成 21 年度先導的留学生交流プログラム (ICI ECP) 関係資料

○欧州との学生交流とネットワーク展開

一教育連携プログラム ICI ECP を例として～

留学交流

11

vol.21 no.11 November 2009

特集

大学の国際ネットワークの充実

編 文

名古屋大学の国際化政策と国際的なネットワーク
渡辺 芳人

事例紹介

欧州との学生交流とネットワーク展開
～教育連携プログラム I C I E C P を例として～
石川 真由美

International Network of Universities (I N U)
西谷 元

A K P 同志社留学生センターにおける国際交流機関としての役割
小川 信夫

英国の大学に見る国際ネットワークに関する取組
藤田 雄一



独立行政法人
日本学生支援機構 (JAIC)



時 評 社

○平成 21 年度先導的留学生交流プログラム (ICI ECP) 実施状況

プログラム名	参加大学	派遣(人)	受入(人)
①自然科学高等大学生教育に於ける EU-Japan国際交流プログラム (INTERFACES)	大阪大学(日本側幹事校)、東北大学、京都大学、 グローニンゲン大学(欧州側幹事校)、ハイデルベル グ大学、ボーフム大学、ウプサラ大学	10	6
②学際的グローバル 機械工学教育プログラム(IGM)	大阪大学(日本側幹事校)、東京大学、東京工業大 学、デルフト工科大学(欧州側幹事校)、デンマー ク工科大学、スウェーデン王立工科大学	13	9

(国際交流室作成)

(出典：留学交流 (2009 年 11 月号 (vol.21 no.11))

編集：(独) 日本学生支援機構